

KOZMOS

思うこと……………	1
収書組織について……………	2
貴重書から 「小萩がもと」解説…	4
私のすすめる一冊の本…	5
書誌の御案内……………	5
統計からみた図書館 昭和57年度…	6
図書館の電算化……………	8
館内だより……………	8

コスモス 1983 夏 (No. 62)

思 う こ と

工学部分館長 齊 加 美 彦

わが国経済の高度成長ぶりは、世界の驚異といわれ、脅威とさえいわれているが、その原動力は何といっても、その優秀な科学技術の力である。それを如実に示す指標として、工学系新刊書の出版のおびただしい数をあげることができる。しかもそのなかには世界に誇るにたる優れた良書も決して少なくない。

しかし科学技術の尖端は、文字通り日進月歩の進歩をつづけている。いかなる名著といえども、たちまちにして旧くなる。昨日の最新情報も今日は使いものにならなくなる。したがって、工学系図書館としては、利用者の用を便ずるためには、常に最新の研究文献資料の類を整備しておかねばならない。学部の諸先生の多くは、それらを自己負担でまかなっておられるが、外国の新刊や定期刊行物にまでは及ばず、それらは学校の図書館などに頼っておられるのが通例である。

ところが、近年外国の書籍、雑誌類の値上がりが急激で、図書館の予算はこれに追いつけず、そのため外国の定期刊行物の購入は、その一部を取りやめるの止むなきに至っている。当然の結果として、最近数年間にわたって、わが工学部分館は年々その質の低下を来たしている状態である。

貿易摩擦の問題などとからんで、いまわが国の工業界は、技術開発の大きな方向転換とともに、

さらに一層のその躍進の必要に迫られている。

このときにあたって、こうした図書館の質の低下によって、研究の停滞、あるいは後退が生じるとすれば、ことは重大である。

顧みれば、わが国の科学技術が今日の高水準をはこり得るに至ったのも、その原因はいつに、世界一数の多い工学系学卒者を擁する技術陣の層の厚さにあるといえることができる。

わが東洋大工学部も創設以来その一翼を担ってきた。今後も一層の貢献が期待されている。

そうした期待に応えるため、まず必要なことは図書館の充実であろう。文献・資料の収集方法・整理分類方法、保存方法などにもいろいろ問題はあろうが、まずは図書費の不足が切実な問題である。学生用図書の充実と並行して、研究上の必要に応えるための図書の整備に努力し、逐年の質的低下にこのあたりで歯止めをかけねばならないと考える。

格調の高い寄稿ぞろいの本欄を、このような拙文でけがして恐縮に思いながら、実感を述べさせていただきます。

昭和58年5月12日

(工学部教授 いつき かみひこ)



図書館の蔵書はいろいろな方法で収書されています。購入や寄贈、交換などの手段をとる場合。教員、職員による選書、学生の希望による場合など多様です。図書館では図書館職員による収書の組織として昭和55年4月より収書委員会を発足させました。これは全図書館職員が直接収書に参加する初めての組織です。この3月で第一期三年が終了し、現在第二期を試行中です。そこでこの組織の概要と、感想をまとめてみました。

—編集委員会—

収書組織について

本学図書館の収書組織は、学部（大学院・短期大学を含む）用の図書費を除いた、主として図書館側図書費を使用し、学生用を中心に収書するために、「収書組織内規」（昭和55年1月23日 図書館運営委員会決定）にもとづいて作られたものである。

この組織は、収書委員会と、その下にある小委員会によってなっている。

その小委員会は、

- 第1部門 経済・経営・法律・政治・産業
- 第2部門 社会・教育・図書館学・心理学
- 第3部門 国文・仏教（含宗教）・漢籍
- 第4部門 外国文学・語学
- 第5部門 哲学・歴史・芸術
- 第6部門 自然科学・工学・体育

の六主題と、

- 第7部門 参考図書
- 第8部門 視聴覚資料
- 第9部門 特殊コレクション

の三部門によって構成されている。

この小委員会の上にある、収書委員会とは、別名収書代表者会議とも呼ばれるように、収書担当の課長と、各部門の代表者と、他の課長によって組織されている。これは小委員会の統轄・調整の機能をもっている。

第9部門の特殊コレクションとは、本学図書館の個性形成を行い他大学図書館との相互協力に資するために、各種百人一首、図書に関する図書、学祖井上円了の著作及びそれらの周辺の図書を収集するために設けられた部門である。

各小委員会は、図書館職員が、主として自分の得意とする、また関心をもっている分野の部門に

参加し、具体的な収書活動を行っている。

大学図書館における収書業務は、たとえその対象が学生であったとしても、その分野についての専門的知識なくしては、またそれへの絶えざる研鑽なくして十全なものを期待しえない。一方図書館職員は、常時利用者に接触している。利用状況を身をもって知り、これを収書に反映することができるのが図書館職員なのである。収書委員会構想は、図書館職員の主題への知的熱意と、利用状況の知識を前提とし両相俟ってはじめて可能となるのである。前者（主題への知識）については、すべての図書館職員が同一のレベルにあるとは言えない。したがって、小委員会が必要とした場合は教員を顧問としてお願いできるようにきめられている。さらにもっとも得意でなければならぬ筈の后者（利用状況の把握）についても、昨今のような、図書館以外の部局との配置転換が行われれば、一定の水準を保障することは困難となる。

収書委員会三年間の運営のあとをかえりみて、従前に比して図書館の蔵書群が緻密なものになりつつあることは確実である。しかし、問題なしとしない。ここに専門職員（司書）制度の具体化、図書館職員採用、配転など人事政策が横たわっていることを申述べたい。

（図書課長 山内 四郎）

第1部門 経済・経営・法律・政治・産業

社会科学系の蔵書はいまだ不十分である。法学部を例にとると、和書が相対的に少なく、日本に

四つしかない特殊な新設コースをもつという事情がある。学生諸君は多くが4年の在籍で社会へ出るの、たえず基本図書の補充と更新をするつとめがこの部門にはあるとおもう。

第2部門 社会・教育・図書館学・心理学

全集・復刻で良いものがあつたが、高価で購入出来ないものが多く、また、社会は他部門との区別がつきにくい面があり、それらをカバーするには予算が少なかった。これら以外は大体において出版事情もあるが、バランスを持って収書できたと思う。

第3部門 国文・仏教(含宗教)・漢籍

漢籍、仏教(含宗教)、国文といった我校の伝統ある分野であるため、図書利用者も多く、購入しなければならない書籍は山程ある。が、限られた予算内での収書故、万単位の金額になると仲々購入できず、全学生が利用できる個人文学全集とか、古書にまでは、とても手が出ない現状である。

第4部門 外国文学・語学

語学と外国文学の収書を担当して三年。新刊書と基本的な図書を中心にして、言語の多さに驚きながら、徐々にではあるが、入門書を揃えるようにしました。開架書庫の820～899のあたりを！文学作品と研究書のバランスが課題で、文学全集個人全集を中心に揃えるようにつとめました。

第5部門 哲学・歴史・芸術

担当分野の基本図書を集めようと努力したが、一期毎年100万の予算では目立った新刊書の購入が精一杯だった。特に価のはる美術関係の図書はほとんど収集できなかった。基本図書である県史、市史の欠落部分の補充とともに、今後

課題を残している。

第6部門 自然科学・工学・体育

少額予算、非学術書の受入、分館規模の人数と予算に対比して指適される運用……。部門の存在を問われることの多い三年間であった。

しかし、小さくとも枠が確保されたため学生用の自然科学・体育の関係書は蔵書内容を更新しつつある。

第7部門 参考図書

参考図書部門では、継続的に購入しなければならないものが約80%近くを占め、参考図書の出版が急激に増加したにもかかわらず、新規購入もままならない状態であった。このため、価格・利用状況・代替資料の有無などを勘案し、継続図書の購入中止を行った。今後とも蔵書内容の見直しを絶えず実施する必要がある。

第8部門 視聴覚資料

この部門では、フィルム、ビデオ・テープ、スライド、録音テープ、レコードを主な収集の対象としている。三年間の収集業務の感想を述べれば、何といっても各資料をバランスよく集めることが肝要であったという点あげられる。それに、レコードは購入もれがあると廃盤になって入手できなくなるという点も収集上のポイントとなるようだ。

第9部門 特殊コレクション

この制度の具体化以降三年間に収集された当コレクションは次の通りである。

- ① 井上円了及び明治期思想関係文献(含妖怪学関係、妖怪学講義録引用図書中未所蔵文献) 120点。
- ② 書物関係文献 100点。
- ③ 百人一首関係 144点。

○
○
○
あ
の
本
も
欲
し
い
こ
の
本
も
欲
し
い
で
も
予
算
が
○
○
○

貴重書から

『源氏物語』桐壺の巻に、「みやぎの露ふきむすぶ風のおとに小萩がもとを思ひこそやれ」という歌がある。宮城野は、宮城県仙台市郊外の原野で萩の名所であり、歌枕として名高い。現在仙石線榴ヶ岡公園付近にその面影を残す。宮城と書くので宮中の意に用いられることが多い。歌意は、宮城野を吹きわたり露の玉を結ばせる野分の風の音を聞くにつけて、小萩がその風に痛められてはしまいかと、自ずとその小萩（若宮＝源氏）のもとに思いを馳せることである、という桐壺の巻前半における盛り上りの場に、桐壺帝によって詠まれた歌である。桐壺の更衣は、桐壺帝の寵愛を独占し、他の女御・更衣たちは、そのことを嫉妬した。桐壺の更衣は、光源氏を生んだ。帝はますますその母子を寵愛した。女御・更衣の嫉妬は一層激しくなり、特

に弘徽殿の女御は、皇子もあるので人一倍であった。桐壺の更衣は、元来が病弱な上、その嫉妬などのために病状が悪化し、里に下ってすぐ他界した。帝の悲嘆は余りあるものがあり、^{ゆげひ}朝負の命婦を使いとして、更衣の里邸の母親のもとへ見舞し、更衣追慕とともに三歳になる若宮への恩愛を深くした折の歌である。この歌の「小萩がもと」が本書の名称となっている。

本作品は、「天正十四年ふみ月十四日より」と期日を定め、帝の皇子である親王の病気から起筆してある。その病氣は^{おこ}瘧り病（間欠熱の一種）であって、そのため主上（帝）は悲嘆にくれ、方違^{かたが}いなどをする。それによって一時病氣は恢復し、親王の御所で妻（若御局）や御子たちと歓談

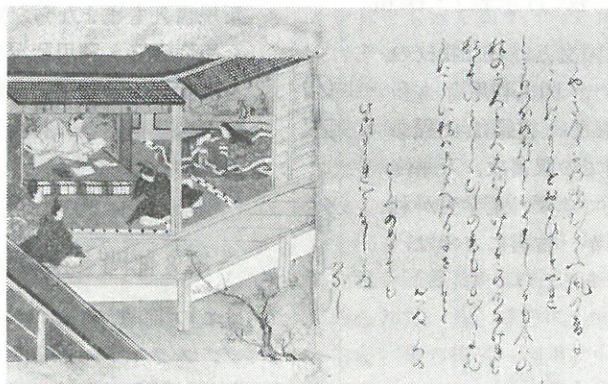
『源氏物語』桐壺の巻に、「みやぎの露ふきむすぶ風

などをする。しかし病いは完治せず、すぐ瘧りが再発し、若御局の心配のうちに遂に他界してしまう。主上は最初親王の死を知らせられないでいたが、隠し通せないで知らせると、悲しみのあまり帝の位を弟君に譲りなされ、院（上皇）となってしまう。本来なら親王（皇太子）に譲位の予定であった。その主上の悲嘆を察知し、若御局の父関白殿が、主上にお悔みの歌を差し上げられる。その場面が、かの桐壺帝の昔を彷彿とさせ、「小萩がもと」の歌を引用される場となる。また関白殿の北政所から主上に歌が贈られ悲しみをそそる。

北政所は、若御局とも贈答歌を交し悲嘆を慰めるが、若御局は、悲しみのあまり消えてしまいそうな心境で暮す。そのため食事^{けし}も摂ることができず、悲しみに打ちひしがれる。若御局の悲嘆の様子に健康を心配し、関白殿が慰め、どうか重湯を食することができるようになる。というのが本作品の概略

貴重書『小萩がもと』解説

文学部助教授 高城 功夫



撮影者：久野 俊彦

である。内容的には、王朝物語に典を求めた擬古物語の系列に属す。しかも簡単な絵（七面）を伴っていて奈良絵本と呼ばれるものである。主要な箇所^{しよ}の簡単な絵でもって、詞章部分の一助を担っており、子女等にも理解の便が与えられたものである。

本書は、縦 23.2 横 16.8 ㎝、列帖装二折の写本一冊である。表紙は緞子仕立、金糸で円や蔓草模様を織りなす美本。中央に金箔で菖蒲等模様を描く題簽に「小萩かもと」とある。見返しは金箔の鳥の子紙で、本文料紙は鳥の子紙に笹・草等金泥下絵模様を描く江戸時代極初期の写本である。

なお、本書は、東洋大学図書館以外に所伝を聞かない貴重な一書である。（たかぎ いさお）

私のすすめる一冊の本

スタンダード経済学シリーズ 全16巻

(東洋経済新報社 1983～)

好個の経済学入門書

経済学部教授 犬 田 章

本シリーズは、初めて経済学を学ぶ者に、現代経済学の基礎理論を平易に解説し、実際問題に理論をどのように適用して解明してゆくかを経済学の各分野について砕いて説明した入門書である。

全16巻は、マクロ経済学、経済学の歴史、消費者の経済学、財政、計量経済学、社会保障の経済学(以上既刊)、金融、ミクロ経済学、労働経済学、日本経済の成長史、公共経済学、都市経済学、国際金融、国際経済学、産業の経済学、経済体制に分けられ、日本経済の現実の事例、制度、統計資料を盛り込んで、理論と実証とのバランスをとりながら、数式の使用は各巻の性格による相違はあるができる限り最小限度にとどめ、現代の経済的諸問題の対策に触れた好個の入門書であり、とくに大学法文系教養課程の副読本に最適の書として紹介したい。従来この種の入門書は主に米・英の著名教科書の翻訳が使用され、日本経済の現実把握と分析には手が届かなかった。

本シリーズのどの巻でもよいから熟読すれば経済学がわかり易く身近なものとなるであろう。

330.8 : S-13(白山), 330.8 : S(朝霞)

広 瀬 隆 著

ジョン・ウェインはなぜ死んだか

(文芸春秋・1982)

文学部助教授 大 森 正

(1) 1954年ユタ州の砂漠で、ジンギス・カーンの生涯を描く大スペクタクル『征服者』のロケが行われた。主演はジョン・ウェイン、ヒロインはスーザン・ヘイワード、ジョン・ウェインの2人の息子も端役で出演した。後に、ジョン・ウェイン、スーザン・ヘイワードは癌で死んだ。2人の

息子も癌闘病中。それだけではない。ハリウッドから参加した220人のキャストのうち、驚くべきことに91人が癌にかかっている。しかもこのうち、46人がすでに死亡している。一体『征服者』のロケに何がおこったのか。

(2) ジョン・ウェイン、ゲーリー・クーバー、ロバート・テイラー、ステイプ・マクティーン……西部劇スターが次々に癌で死んだ。西部劇スターはなぜ癌で死ぬのか。

(3) レーガン現大統領も元は西部劇スターだった。レーガンはなぜ健在なのか。

これは、単にアメリカでの話ではない。明日、日本で起っても不思議ではない。多くの人に読んでもらいたい本である。519.52 : HT(白山・朝霞)

図書館学専攻生作成 書誌の御案内

その3 (No. 61, p.8より続く)

図 書 館

書誌：公共図書館報(1965～1979)

昭和53年度東洋大学図書館学関係の常勤及び非常勤教員の著作リスト(1929～1978)

図書館建築に関する書誌(1970～1980)

図書館建築に関する書誌(1970～1978)

図書館における障害者サービスに関する書誌(収録年不詳)

図書館の保存等に関する書誌(1958～1978)

図書館職員の専門職制に関する書誌—公共図書館を中心に—(1964～1977)

図書館員の養成・教育に関する書誌(1955～1976)

図書選択及び蔵書構成に関する書誌(1948～1978)

横浜市図書館に関する書誌(1972～1978)

ヨーロッパにおける図書館研究視察に関する書誌(1960～1978)

わが国の図書館の機械化に関する書誌(1969～1979)

そ の 他

中国プロレタリア文化大革命に関する書誌(1965～1978)

ファッション・ビジネスに関する書誌(1963～1980)

婦人問題—女性解放運動・労働問題—に関する書誌(1970～1979)

巖谷小波・小川未明の個人書誌(1891～1979)

航海記に関する書誌(1950～1979)

教育制度に関する書誌(1957～1974)

書誌(1956～1978)

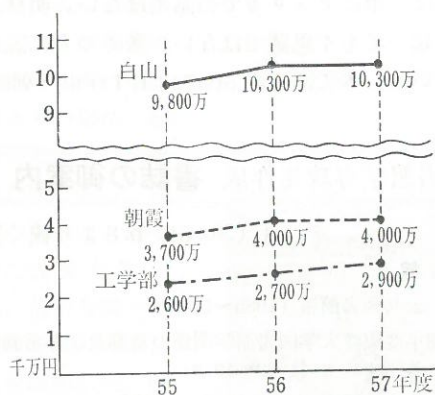
統計から見た図書館——昭和57年度

I 資料の購入

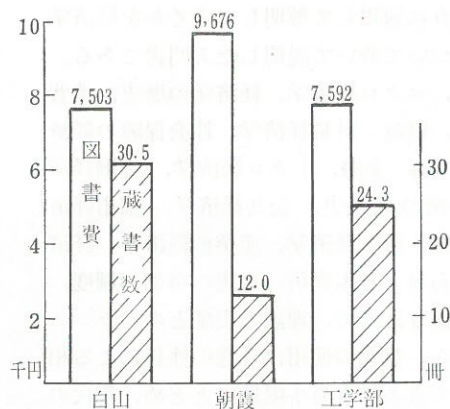
I-1 所蔵数 (昭和58年3月31日現在調べ)

	57年度増加図書数			総所蔵数		
	和	洋	計	和	洋	計
白山	11,196	4,993	16,189	293,175	131,375	424,550
朝霞	6,555	245	6,800	46,119	2,080	48,199
工学部	2,164	1,329	3,943	54,368	38,605	92,973
計	19,915	6,567	26,482	393,662	172,060	565,722

I-2 図書費

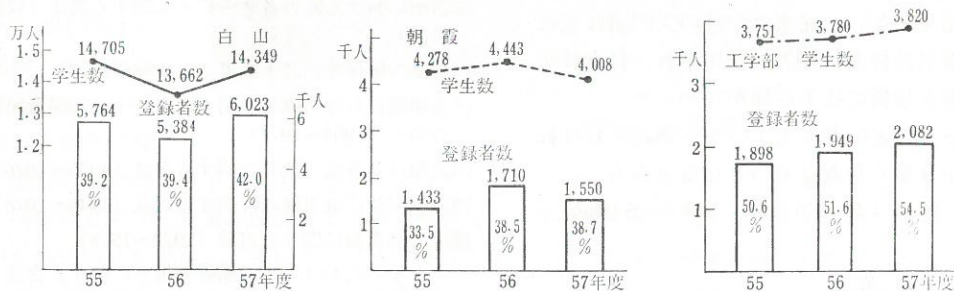


I-3 学生一人あたりの図書費, 蔵書数

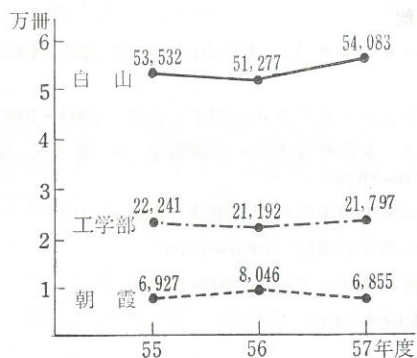


II 利用

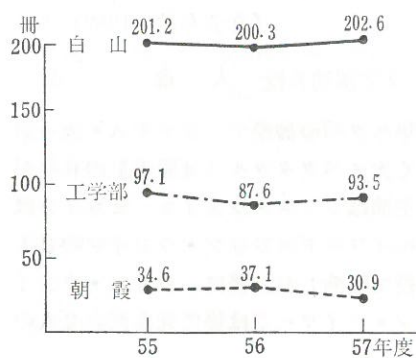
II-1 登録者, 登録率



II-2 館外貸出総冊数



II-3 1日平均館外貸出冊数



Ⅱ-4 学生1人当りの館外貸出冊数

館	年度	55	56	57
白山		3.7冊	3.4冊	3.5冊
朝霞		1.6	1.8	1.7
工学部		5.5	5.0	5.3

Ⅱ-5 参考質問, 相互協力

昭和57年度	関 覧		文 献 複 写	
	受 付	依 頼	受 付	依 頼
白山	104	274	860	266
工学部	62	15	156	379

Ⅱ-6 雑誌の統計

(白山)・雑誌年間受入冊数 総冊数 15,614冊

和 雑 誌		10,473 (67%)		洋 雑 誌
購 入	紀 要	寄 贈		
5,735 (36%)	2,366 (15%)	2,541 (16%)	5,141 (33%)	

利用者別館外貸出冊数

年度	学 部	短 大	大学院	教職員	その他	合 計
56	1,253	92	199	366	99	2,009
57	1,295	90	155	410	66	2,016

Ⅱ-7 視聴覚室利用状況 (白山)

① 年度統計

年度	55	56	57
開室日数	146	149	154
利用件数	2,913	3,456	3,362
夜間利用	(246)	(385)	(346)

② 館内貸出ベスト5

イ, レコード (ポピュラー)

- (1) 荒井由美 ひこうき雲
- (2) ウッドストック
- (3) S & G グレーテストヒット
- (4) ビートルズ 1967-1970
- (5) イーグルス ホテルカルフォルニア

ロ, レコード (クラシック)

- (1) チャイコフスキー「交響曲5番」
- (2) ベートーヴェン 「 〃 9番」
- (3) 〃 「 〃 3番」

- (4) ブラームス 「交響曲1番」
- (5) ショパン 「ピアノ協奏曲」

③ 館外貸出ベスト5

イ, レコード (ポピュラー)

- (1) 高中正義 虹伝説
- (2) オフコース We are
- (3) 松任谷由美 流線形 80
- (4) ジョンレノン・オノヨーコ, ダブルファンタジー
- (5) ビートルズ レットイットビー

ロ, レコード (クラシック)

- (1) NHK効果音楽
- (2) モーツァルト レクイエム
- (3) ショパン ノクターン
- (4) ベートーヴェン 交響曲8, 9番
- (5) レスビーギ ローマの松

ハ, 録音テープ

- (1) 民法基礎講座
- (2) The English Journal
- (3) 西尾孝 実践英単語
- (4) シナリオ・カセットブック
- (5) 憲法基礎講座

Ⅱ-8 複写枚数

館	年度	55	56	57
白山		574,737	369,647	451,175
朝霞		25,646	10,347	10,037
工学部		91,816	107,874	99,204

図書館映写会のお知らせ(9月~12月)

☆白山図書館(場所:第3閲覧室18:00~)

- 10/29(金) 大理石の男(映写会50回記念)
11/11(金) Uポート
12/9(金) 舞踏会の手帖

☆朝霞分館(場所:230番教室12:25~)

- 9/29(木) チキチキバンバン
10/13(木) マタギ
12/15(木) チャンス

図書館の電算化

情報化社会といわれる現代、情報はあらゆる所に散乱し、その量は増える一方である。その中で図書館は、利用者に膨大な情報を正確かつ迅速に提供することを目的として電算化へと動き出した。

図書館電算化には2つの方法が考えられる。一つは個々の図書館による独自のシステム形成であり、もう一つは複数の図書館によるネットワーク形成である。前者は、受入業務から閲覧業務までトータルに電算化することが可能であり、後者は書誌情報データベース作成による目録の統一と、より多くの情報を収集することを目的としている。そこで、我が国の現状であるが、ほとんどの図書館が前者指向であり、ネットワーク形成までには至っていない。個々に電算化することによって学内の整備をすることも大切である。しかし、増え続ける情報に単一図書館で十分な資料収集を行えない現在、他大学図書館とのネットワーク形成が必要ではないだろうか。今後は、各図書館で手分けをして資料収集を行い、それを一ヶ所に集め、何処からでも各図書館の蔵書がわかるような、コンピュータによる図書館ネットワークの形成が出来ることを期待する。

図書館には、コンピュータによる情報の統合、そしてより広範囲にわたる情報提供が必要である。今後、さらに多くの図書館が電算化計画を進めて行くと思われるが、独自の電算化システム形成と共に、他大学図書館とのネットワーク形成に対応出来るような図書館電算化を進めて行かなければならない。(工学部分館 T記)

~~~~~

### 館内だより ('83, 2/10~5/18)

- 2月10日 千葉雄次郎名誉教授蔵書調査 同教授伊豆別荘, 山内(四), 能仁出張
- 3月11日 私立大学図書館協会東地区部会, 同研究部会 於関東学院大学 大川館長, 山内(四)出席
- 12日~14日 書誌作成分科会 於法政大学 三浦荘 小笠原参加

- 15日 視聴覚分科会 於農大 水口参加
- 18日 逐次刊行物分科会 於駒沢大学 内田参加
- 19日 書誌学分科会 於本学図書館 山内(四)・高橋参加
- 27日 故杖下隆之名誉教授蔵書調査 山内(四)出席
- 31日 図書課河村道也 定年退職
- 4月1日 松沢実配属(人事課所属図書課出向)
- 11日 工学院大学図書館業務電算化見学
- 12日 視聴覚資料分科会 於農大 水口参加
- 12日 書誌作成分科会 於東京経済大学 小笠原参加
- 13日 逐次刊行物分科会 於法政大学 村山・内田参加
- 16日 書誌学分科会 於本学図書館 山内(四)参加
- 21日 第1回運営委員会開催(昭和58年度) 運営委員変更  
教務部長・泉治典, 法学部・早田芳郎, 工学部・佐藤晴夫, 短期大学・上野破魔治, 工学研究科・浅井貞重
- 23日 私大連盟海外研修打合せ 於私学会館 小島出席
- 5月10日 視聴覚資料分科会 於成蹊大学 水口参加
- 13日 私立大学図書館協会研究部幹事会 於農大 村田・黒沢参加
- 17日 相互協力分科会 於農大 村田・生野・原口参加
- 18日 図書館雑誌業務電算化実行委員会, 雑誌システム(日本ユニバック)見学 小島, 鹿島, 中村, 丸山, 村山, 内田参加  
書誌作成分科会 於明治学院大 小笠原参加

### 訂正

前号(No. 61)の記事を次のとおり訂正いたします。

P. 8 左上2行目 その1 → その3

### 一編集後記一

今号より、編集委員が変わりました。よろしくお願ひ致します。

初心者ばかりでやっと発行することができ、編集するということのむずかしさを知りました。

原稿をお寄せ下さいました諸氏にお礼申し上げます。(白山)宮崎, 丸山, 小倉, 山内(裕)

(朝霞)後藤, (工学部)田辺